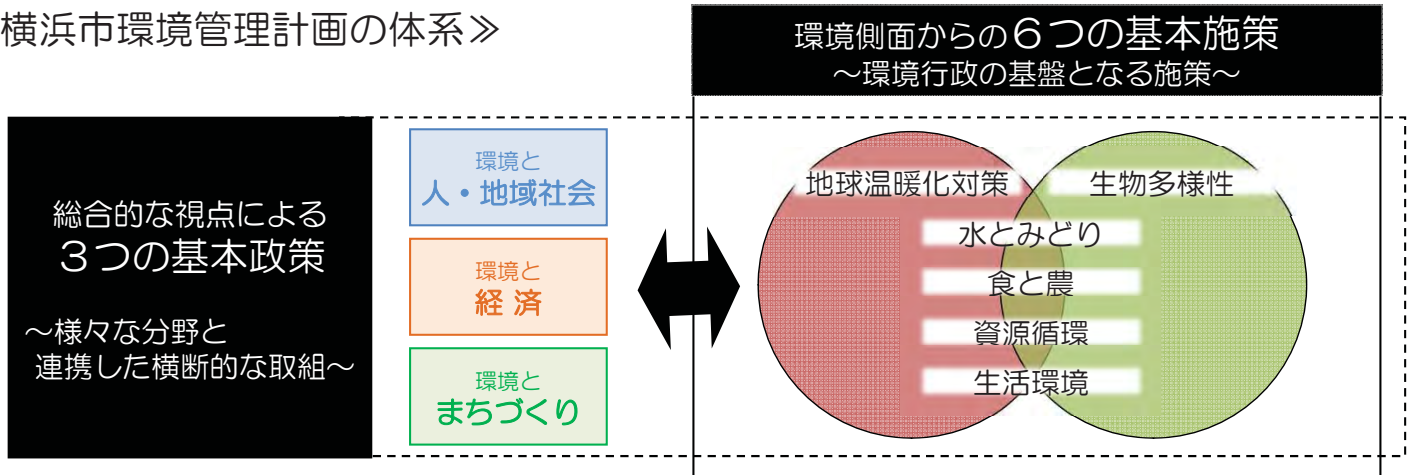


# 「横浜市環境管理計画」平成27年度取組の振り返り（概要）

～横浜市における環境の現状や、取組状況についてお知らせします～

多様で広範な環境問題への確に対応していくため、横浜市では、「横浜市環境管理計画」において、3つの総合的な視点「人・地域社会」「経済」「まちづくり」を踏まえながら、「地球温暖化」「生物多様性」を軸とした、6つの環境側面からの基本施策を展開しています。「横浜が目指す将来の環境の姿」の実現に向け、環境への取組を着実に進めていきます。

## 「横浜市環境管理計画の体系」



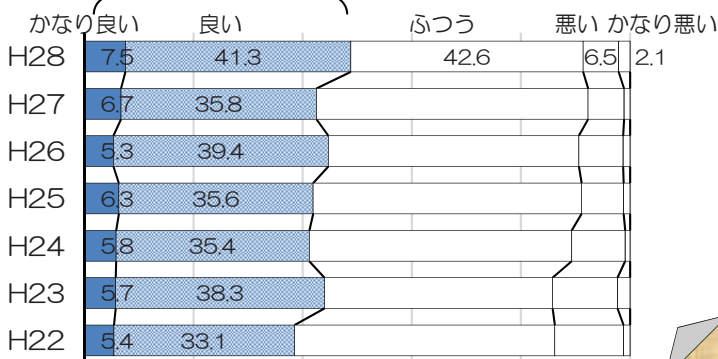
## 「横浜が目指す将来の環境の姿」

- 環境技術の導入やライフスタイルの変革などにより、温室効果ガスの排出が大きく削減している低炭素なまち
- 郊外部だけでなく、都心臨海部においても身近に多様な生き物を感じられる水と緑豊かな自然環境があるまち

## 平成28年度 環境に関する市民意識調査

横浜の環境の現状について  
どのように感じていますか？

「良い」が48.8%

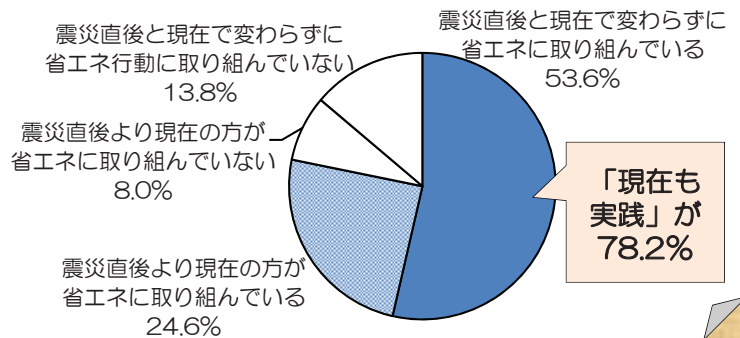


平成28年度 環境に関する市民意識調査

- ・実施期間：平成28年7月8日～14日
- ・調査対象：20歳以上の市民1000人
- ・調査方法：インターネット調査

調査結果はホームページからご覧になることができます  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/data/chousa/>

東日本大震災直後と比較した  
現在の省エネの取組状況は？



「現在も実践」が78.2%

横浜市に優先的に取り組んでほしい課題は何ですか？

- 1位 横浜らしい景観の保全 31.9%
- 2位 公園や道路の緑の保全 30.3%
- 3位 地球温暖化防止の施策 26.9%
- 4位 まちの美化 24.3%
- 5位 公害への対策 24.0%

(20項目から選択、複数回答可)

日常生活の中で、一人ひとりができる取組を積み重ねることが、かけがえのない環境を未来へつなげます。引き続き、ご協力をお願いいたします。

# 3つの基本政策 ～様々な分野と連携した横断的な取組～

## 環境と人・地域社会

～横浜らしいエコライフスタイルを実践する人と

環境のきずなが生み出す地域の活力～

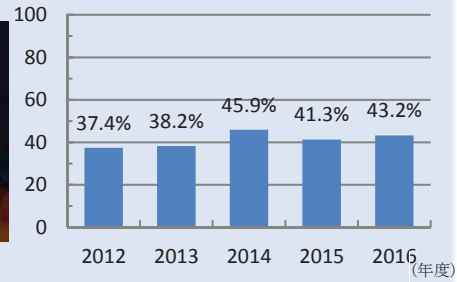
イベント開催などによる環境行動を実践するきっかけの創出、活動団体や愛護会などへの支援による環境活動のネットワークづくり、市民団体と連携した学びの輪づくりなどを実施しました。



きっかけの創出  
(環境行動フェスタ2015)



環境活動のネットワークづくり  
(ハマロード'サポーター交流会)



環境に対する関心があり、行動に結びついている人の推移

## 環境と経済

～環境分野をツール・フィールドとした新たな展開による市内経済の活性化と

地域のにぎわいづくり～

市内企業への設備投資助成による環境分野のビジネスチャンス拡大、成長発展分野への支援等による環境分野での市内企業の技術革新推進、地域資源を活かしたシティプロモーション、公民連携による環境ビジネスの海外展開支援、市民や企業と連携した地産地消の推進などによる都市農業の振興に取り組みました。



地域資源を生かした  
シティプロモーション  
(スーラシア「アフリカのサバンナ」開園)



公民連携による  
海外水ビジネスの展開  
(水・環境ソリューションハブ拠点完成)



企業と連携した  
地産地消の取組  
(市内産農畜産物を使用した新商品の開発)

## 環境とまちづくり

～環境と調和・共生した魅力あるまちづくり～

都心臨海部の緑花などの都心部のエコまちづくり、郊外部のコンパクトで活力あるまちづくり、横浜環状道路整備やモビリティマネジメントの啓発、自転車通行空間の整備など環境にやさしい交通体系の形成、河川の整備や内水ハザードマップ(北部方面)の各区配布の開始などの浸水対策を実施しました。



郊外部のコンパクトで活力あるまちづくり  
(持続可能な住宅地モデルプロジェクト  
(緑区十日市場)完成イメージ)



浸水予測情報の周知  
(内水ハザードマップの一例(港北区))

## Q&A

環境に関する情報を得る方法は？ エコぼるとって何!? 職員が自らツイッターでつぶやいている!?

——環境活動に興味はあるけど、何をすればいいかわからない。どうすれば情報が得られるの？

職員: たくさんの情報からあなたにぴったりの活動を探したければ「エコぼると」(市ホームページ)がおすすめです。「エコぼると」では環境のことを「知りたい」「やってみたい」そんな皆さんにさまざまな情報を提供しています。「エコぼると」のイベント情報では、市内外のさまざまなイベントから開催日や開催エリア、対象者層で絞り込みができるので、きっとあなたに合う活動が見つかりますよ。



エコぼると

検索

——エコぼるとのほかには、ほかにはどんな情報発信をやっているの？

職員: 広報よこはま(毎月1日発行)や、各区役所、市民情報センターなどに配架されているチラシなどでも環境に関する情報をお知らせしています。6月は「環境月間」で、環境に関するイベントが数多く紹介されているのでチェックしてほしいですね。広報よこはまでも6月号は環境に関する取組が特集されることが多いんですよ。また、Twitterでも情報発信しています。環境関連のイベントや皆さんのエコライフに役立つ情報を我々職員が発信しています。こちらもぜひチェックしてみてくださいね。



横浜環境情報  
@yokohama\_kankyo



# 6つの基本施策 ～環境行政の基盤となる施策～

## 地球温暖化対策 ～化石燃料に過度に依存しないライフスタイルへの転換～

横浜市の平成26（2014）年度の温室効果ガス排出量（速報値）は、前年度と比較して2.8%減と、震災以降、初めて減少しました。減少の要因としては、エネルギー消費量の減少や電力の排出係数※1の減少が挙げられます。今後も市民・事業者の皆様と連携し、創エネ・省エネ等の推進による温室効果ガスの削減を進めていきます。※1：供給電力量1kWhあたりの発電に伴う二酸化炭素排出量

### 主な取組

- 低炭素交通の普及（燃料電池自動車（FCV）導入への補助、自転車や公共交通への利用転換促進）
- HEMS※2等自立分散型エネルギー設置への補助
- 公共建築物の省エネ化推進（木材利用の促進、省エネ改修）
- ヨコハマ・エコ・スクール（YES）の開催

※2: Home Energy Management Systemの略。読み方は「ヘムス」。一般家庭向けエネルギー管理システム



燃料電池自動車（FCV）



地域交通サポートの実証運行開通式



官公庁で初  
自立型水素燃料電池システム  
@横浜港流通センター



公共建築物の省エネ化  
(南区総合庁舎の木質化整備)

## 生物多様性 ～身近に自然や生きものを感じ、楽しむことができる豊かな暮らし～

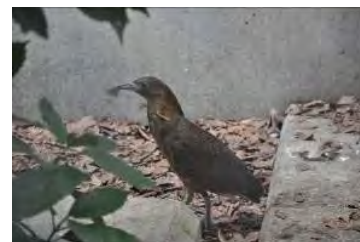
「環境に関する市民意識調査」では、市民が生物多様性を守る取組のうち特に必要だと思うものは、「生き物のすむ川、水辺の整備」が63.1%で、最も多くなっています。今後も、普及啓発の充実や企業への支援等を通じて生物多様性への関心を深め、日常生活の中で横浜の自然や生き物に親しむ“横浜らしいエコライフスタイル”の定着を推進していきます。

### 主な取組

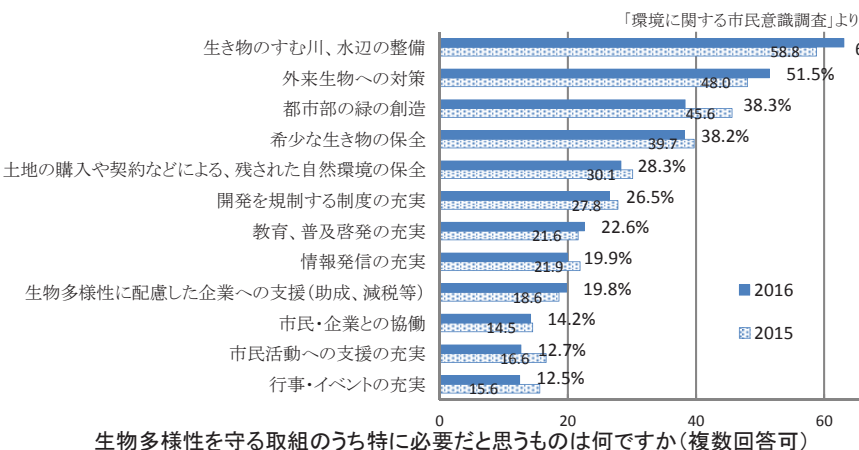
- 「生きものつながりキャンペーン2015」等の啓発イベントや身近な動物等に関する講座の開催
- 横浜環境活動賞による企業の環境行動の表彰及び広報
- 外来種駆除のため瀬上池のかいぼりを実施
- 希少動物ミゾゴイ 2羽の繁殖成功（日本初）
- 小学生による生き物調査の実施
- アユが遡上する帷子川アクションプラン策定



瀬上池のかいぼりの様子



繁殖したミゾゴイ



身近な動物・傷病鳥獣に関する講座



小学生による生き物調査用紙 (こども「いきいき」生き物調査)

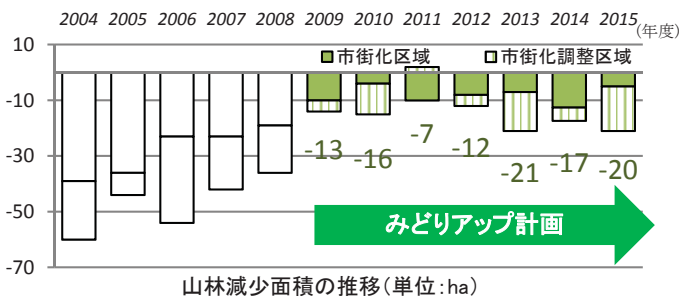


## 水とみどり ～自然の恵みを楽しむ環境の保全・再生・創造～

「横浜みどりアップ計画」に基づく、緑地保全制度による地区指定の拡大などにより樹林地の減少傾向は鈍化しています。また、市街地における緑の創出などを進めたほか、水循環の再生に向け、雨水浸透ますの設置の助成などを推進しました。今後も緑施策と水施策の連携により取組を進めていきます。

### 主な取組

- 緑地保全制度による指定
- 都心臨海部の緑花
- 道路への雨水浸透ます設置
- 透水性舗装による水循環の再生
- 多自然川づくり、水辺拠点の整備



都心臨海部の緑花(山下公園)



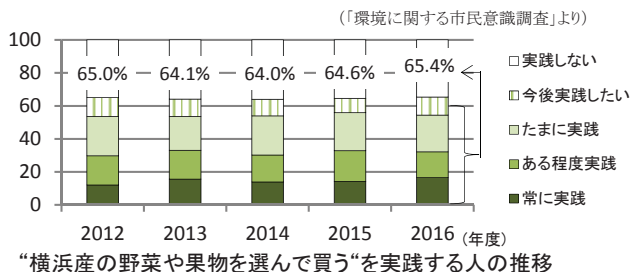
雨水浸透ます

## 食と農 ～食と農の連携による横浜型農業の新たな展開～

「環境に関する市民意識調査」では“横浜産の野菜や果物を選んで買う”ことを「実践している」、「今後実践したい」人は合わせて65.4%でした。近年、市民の食や農への関心が高まっており、地産地消の取組として、直売所の整備やホテルや飲食店などと連携も進めています。都市農業を振興させるため、大都市の特徴を生かした先進的な農業施策を進めます。

### 主な取組

- 水田の保全、水源の確保
- 市民農園、収穫体験農園の開設
- 農園付公園の整備
- 農地の貸し借りに関する調整、営農支援
- 直売所や青空市の支援



市民が農を楽しむ支援(あぐりツアー)



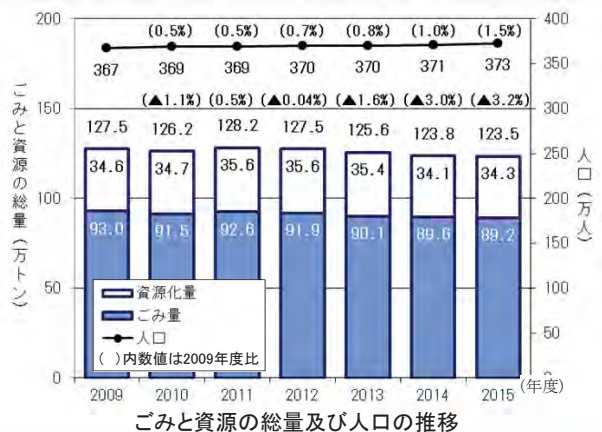
飲食店と生産者による交流会

## 資源循環 ～循環型社会の構築～

H27(2015)年度のごみと資源の総量は、H21(2009)年度に対して3.2%減少し、ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスは6.7%減少しました。今後も「ヨコハマ3R夢プラン」に基づき、取組を進めていきます。

### 主な取組

- 3R行動実践に向けた広報・啓発
- 事業者による減量化と分別徹底
- 焼却工場の長寿命化工事(都筑工場)
- 最終処分場の整備(南本牧ふ頭)



幼稚園、保育園、小・中学校を対象とした出前教室



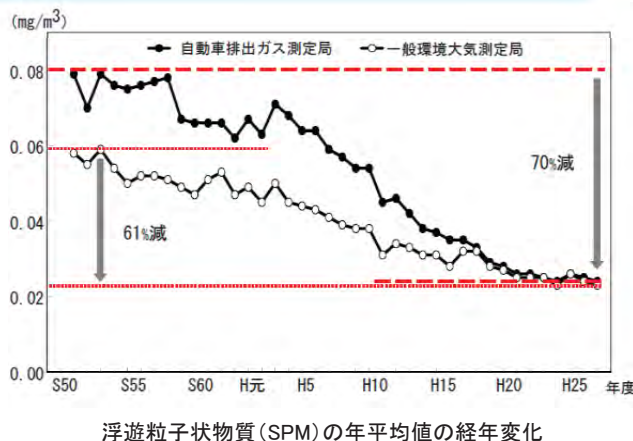
ごみ焼却工場(都筑)

## 生活環境 ～安全で安心・快適な生活環境の保全～

法令に基づき、大気汚染、水質汚濁、騒音等の規制指導、調査を進めています。今後も、安全で安心・快適な生活環境を保全するため、関係法令に基づき、各取組を着実に推進します。

### 主な取組

- 工場・事業場等への継続的な規制・指導
- 大気汚染物質(PM2.5など)の常時監視
- 下水の高度処理化
- 化学物質に関する情報共有の推進
- すず風舗装(保水性舗装や遮熱性舗装)によるヒートアイランド対策の推進



事業所への立入調査



すず風舗装(遮熱性)による道路整備